



第157号
令和元年10月1日
能代市教育委員会
学校教育課

創刊 昭和42年10月10日
題字 元能代市教育長 鎌田 宏

随想



継承と創造
諸先輩から支えられて

向能代小学校長

鈴木 和人

新任の観海小での研究授業は「道徳」。終末の読み聞かせは覚えている。指導主事の佐藤正博先生から「持ち味を生かす」を教わった。その後、日本地理教育学会での発表、「失われた学校の記録」の発刊、「童芸まつぼっくり」旗揚げ公演等で物心両面から支えて頂いた。

観海小では沢目中の恩師・工藤英美先生と同職した。もう一人の恩師・原田和弘先生は、切石小に在職。お陰で自然環境や社会科に興味をもち、地域素材の教材化を知った。工藤先生はその後も様々な関わりをして頂いた。「科学研究費助成事業」に参加し、石油エネルギー活用視点から自動車や公共交通の在り方の提言は、今の

世界的な省エネとつながった。心の豊かさが問われる社会になり、人間の価値観を問う物語を、地域の若者による朗読劇に仕上げ、町民に問いかけた。岩館海岸の成り立ちを学び、日本地質学会での児童の発表が、八峰白神ジオパークとつながった。

他にも「家族の絆」を大事にして下さった山木正俊先生、平和教育推進・スポ少改善・週末の地域や家族への関わりを提唱した牧野三千雄先生、教職員の人形劇団結成や全校劇「川村養助物語」のきっかけをつくった岩谷作一先生等々。その心意気に惹かれた私たちの世代は、「人を大事にし人を育て未来を夢見る」精神を継承・創造してきた仲間であった。

随想



笛を鳴らすこと
鳴らさないこと

二ツ井中学校長

安井 正志

私が教師を目指したのはテレビドラマの影響です。中村雅俊主演の「われら青春」村野武範主演の「飛び出せ青春」といった高校の部活動を描いたドラマでした。大学までバスケットボールに打ち込んできた私は、バスケットボールの先生になりました。

バスケットボールを指導する傍ら取り組んだのが審判活動でした。県内の大会をはじめ、東北大会や全国大会で審判をしました。審判活動をする中で、ある指導者から言われたことがあります。それは、「審判は、担当エリア内にいる選手を把握して自由にプレーさせ、基準からはみ出した時に素早く笛を鳴らす。認められるプレーには笛を鳴らさない。笛を鳴らさないのも審判の仕事。分からなかったから鳴らせなかったというのは無し。」当たり前のことのようにですが、このことが教師としての生徒指導に通じると思いました。そして、

笛を鳴らすことと同時に、笛を鳴らさないことの意味も考えました。

笛を鳴らさないということは、その子をしっかりと把握して認めているということになります。

子どもたちは様々な家庭で過ごし、朝、学校に登校してきます。私たち教師にとって大切なのは、子どもたちをしっかりと把握することです。そして、その可能性を最大限に伸ばしてやることです。笛を鳴らすことも鳴らさないことも、時間をかけてしっかりと把握しているからこそできるのです。

読むことの風景



「幼稚園訪問 絵本の読み聞かせ」
令和元年 7月8日 能代第二中学校